「自殺未遂者支援に関する研修会」を開催しました！

我が国の自殺者数は，近年の様々な取組みにより，減少傾向にあります。しかし，広島県では年間約 500 人，当圏域においても年間約 100 人(自殺統計:厚生労働省)の方が自らのいのちを絶っており，依然として深刻な社会問題となっていることに変わりはありません。自殺ハイリスク者のうち，自殺未遂者は自殺の危険性が高く，自殺対策を進めるうえで，自殺未遂者の再度の自殺を防ぐことが重要課題です。

そこで，広島県における自殺未遂者支援の現状について理解を深め，圏域での支援体制の推進を図る目的で研修会を開催しました。

開催日時　平成３０年１月１８日（木）19:30～21:00
開催場所　福山すこやかセンター　１階　多目的ホール
主　　催　福山・府中地域保健対策協議会　　うつ・自殺対策医療連携協議会
参加者数　７１名

◆プログラム

19:30　開会あいさつ
福山･府中地域保健対策協議会　うつ･自殺対策医療連携協議会
会長　平田　教至　先生

【実態調査報告】「 自殺未遂者支援に関する実態調査 」について
報告者　うつ･自殺対策医療連携協議会委員

【講演】
「 地域で自殺未遂者を支援するために 」
～広島大学病院における支援システム～
広島大学病院　精神科　診療講師　志々田　一宏　先生
精神保健福祉士　浜 内　恵 美　先生

21:00　閉会あいさつ
福山･府中地域保健対策協議会　うつ･自殺対策医療連携協議会
会長　平田　教至　先生

❑　内容

「地域で自殺未遂者を支援するために～広島大学病院における支援システム～」と題して，自殺未遂者の理解と対応，自殺未遂者地域介入支援事業について講演がありました。実践に基づいた具体の対応についても分かりやすく，自殺未遂者支援を推進していくためには，関係機関と連携を図ることの重要性を再確認しました。また，医療機関等を対象とした自殺未遂者支援に関する実態調査の報告を行いました。

参加者からは，「自殺の危険性の評価の重要性が分かった。」「具体的な関わり方を交えてのお話だったので，仕事上で使えそうだと思った。」「とても分かりやすい内容でした。今後の支援につなげられるように感じています。」「福山での支援システムの構築が必要である。」などたくさんの意見が寄せられました。

[平田会長　開会あいさつ]

[志々田先生の御講演の様子]

[浜内先生の御講演の様子]

[研修会会場の様子]